

市民生活課

## レトロな駅舎で懐かしの音楽を 蓄音機レコード体験会



レコードの音色を楽しむ来場者

大正レトロをイメージして改修された庄原市交通交流施設（備後庄原駅舎）で11月15日、口和郷土資料館所蔵の蓄音機とレコードの体験会を開催しました。

体験会では、明治・大正時代の貴重な蓄音機6点が展示され、明治から昭和のレコードの中から来場者が選んだ曲を、安部博長館長の解説とともに聴きました。

臨時運行していた「庄原ライナー」で備後庄原駅に到着した人も足を止め、蓄音機から流れる、素朴な中に力強さを感じる音色に耳を傾けていました。

来場者は「生まれる前の曲なのになぜか懐かしい」「年月を越えた響きに感動した」と、安部館長に感想を伝えました。

市民生活課

## 親子で自由に創作 男女共同参画ファミリング講座



「WOOD DADDY」を楽しむ親子

11月21日、庄原ショッピングセンタージョイフルで「男女共同参画ファミリング講座」を開催しました。

今回は「父と子のコミュニケーション」をテーマに、中国地方を中心にした活動を行い、「子育て」をキーワードに老若男女が集まり、つながる場所を提供している「パパフレンド協会」に協力を得て開催。参加者は、広島県産の木材で作られた積み木「WOOD DADDY」を使って家族で自由な創作を楽しみ、親子で触れ合いました。

参加者は「子どもと一緒に何かをする機会がないので、触れ合うのにちょうどよかった」「子どもも楽しんでいたが、親も十分に楽しめた」「子どもがそれぞれ考えて作っている姿を見ることができて良かった」と満足そうに話しました。

比和支所

## 身近なものから自然を学ぶ 比和自然科学博物館長出張授業



化石に触れながら学習(川北小学校)

比和自然科学博物館は、教育機関と連携した学習機会の充実を進める取り組みを行っています。その一つとして、出張授業を行い、小学校の理科の学習を支援しています。

11月下旬～12月上旬には、比和小学校・川北小学校・八幡小学校の3校で授業を行いました。授業では、実物の化石や岩石資料に触ったり観察したりしながら、「学校周辺の地質から見た大地のつくり」「近隣の川から見た中国山地での川の働き」「1千600万年前の化石が産出される庄原市の地層」などについて進藤眞基館長が解説しました。



東城の地質を解説(八幡小学校)

川が最終的に日本海へ流れ出る仕組みがよく分かった」などと話しました。

今後も学校と連携しながら、博物館の収蔵資料や研究成果を活用し、郷土の自然を通じた理科学習の支援を推進します。